



試合はただの答え合わせ

今年は、7月下旬からパリを舞台に第33回オリンピック競技大会が開催されます。現在、その代表選考会が各競技で繰り広げられています。その中で、本年1月の代表選考会で優勝した直後の選手インタビューの一部を紹介いたします。インタビューの最後に記者から「パリへの気持ちは」と問われた際の選手コメントを以下に記します。

「もう半年もないですし、この半年間が一番大事だと思いますね。オリンピックその日は、準備してきたものを発揮するだけなのでこの半年間、いかにいい準備をするか。そこでメダルを取れるか、取れないかが決まってくると思うので。試合はただの答え合わせであって、それまでの練習、勉強が一番大事だと思います。本当に明日からもうオリンピックに向けて、もうこの瞬間ですね、今日あの表彰台を降りたらもうオリンピックが始まると思って頑張りたいです。」

解説者が、後世に語り継がれるであろうと称した決勝戦を制し、その激闘の余韻が冷めやらぬ中での20歳のコメントでした。

私たち職員は、このコメントに似たことを生徒たちに対してよく投げかけます。きっと生徒の皆さんも幾度となく聞いたことがあると思います。部活動や大会、コンクールなどはもちろんのこと、テスト勉強や入試対策でもよく使われます。

「試合は『ただの』答え合わせ」であって「『それまでの』練習、勉強が一番大事」の部分をも自分の生活や学習に当てはめて考えてみてください。そのことをできる限り早い段階でしっかり自覚することがとても大切だと改めて思う今日この頃です。

2年生 カツオ井体験学習

2年生は、家庭科の授業において、日南市漁業協同組合婦人部「はまっこ」の皆様と地域コーディネーターの方のご支援を受けながら、カツオ井体験学習を全学級で実施しました。

「カツオの一本釣り日本一」という町ではありますが、カツオに触れたことも、さばいたこともない生徒が多い中で貴重な体験となりました。



2年生 立志のつどい

2月9日(金)

立志とは、自分の将来の夢や目標を明確にして、その誓いを立てることです。この行事を通して、大人となる自覚を持たせることを目的としています。色紙には生徒それぞれ自分の指針となる文字を掲げ、元気よく、保護者の前で発表することができました。



九州選抜 白龍旗争奪中学生選抜剣道大会 剣道部女子団体 3位入賞

2月18日(日)

九州各県の県秋季中体連大会上位6校が熊本県菊池市に集結し、九州No.1を決める大会が行われました。九州は剣道のレベルが高く、予選から接戦の苦しい試合でしたが何とか勝ち上がり3位入賞を果たすことができました。

3月は全国選抜大会に出場するので、この勢いで頑張ってくれると思います。

